

今年も出会いたい！ 秋の渡り鳥

毎年、10月頃になるとそわそわして落ち着きません。普段は見かけない珍しい野鳥と出会う確率が高まるからです。珍しい野鳥とは、繁殖を終えて越冬地へ渡る直前の夏鳥や、北半球から南半球への旅の途中に休息のために飛来する旅鳥のこと。渡り鳥との出会いは運やタイミングにも左右されますが、しっかりとアンテナを張って、発見ポイントをこまめにチェックすることが大事です。ここでは、身近な公園でも観察できる秋の渡り鳥とその発見ポイントをいくつかご紹介します。



エゾビタキ

秋に日本列島を通過する代表的な旅鳥です。樹木の梢に止まり、フライキャッチを繰り返して飛翔昆虫を捕えます。

 発見ポイント

実の熟したミズキやクマノミズキ、見通しの良い広場などの樹木の梢



キビタキ

近年は公園の雑木林でも繁殖している夏鳥です。渡去前にイヌザンショウなどの木の実をモリモリ食べています。

 発見ポイント

実の熟したイヌザンショウやサンショウ、流れの浅い川などの水場

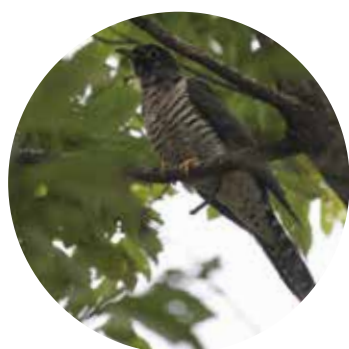


ムシクイ類

外見での区別が難しいムシクイの仲間。夏鳥のセンダイムシクイやエゾムシクイ、旅鳥のオオムシクイなどがいます。

 発見ポイント

シジュウカラやメジロの混群中、流れの浅い川などの水場



ツツドリ

ハトと同じくらいの大きさで細長い体型をした夏鳥です。秋に低地から丘陵地の桜並木へ立ち寄り、毛虫を捕食します。

 発見ポイント

毛虫(モンクロシャチホコなど)が発生している桜並木



サシバ

谷津田などで繁殖し、越冬地の東南アジアへ集団で渡っていく猛禽類です。上昇気流に乗って“鷹柱”を作ります。

 発見ポイント

見通しの良い高台などの上空



アマツバメ

高山の断崖絶壁などで繁殖する夏鳥です。北の空から南の空に向かって、次々と猛スピードで飛び去っていきます。

 発見ポイント

実見通しの良い高台などの上空、ため池の水面近くの上空